

| | | | | | |
|----------|--------------|---------|----|-----|------|
| 授業科目名・形態 | 助産診断・技術学Ⅰ 講義 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1 |
| 担当者氏名 | 三崎 直子 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | 3年後期 |

【授業の主題】

助産診断・技術学の定義、意義を理解し、科学的根拠を基にした助産診断をすることができる。

【到達目標】

1. 助産診断および助産技術の定義と意義、範囲について理解する。
2. 科学的根拠をもとに、正常な助産診断について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 助産診断の定義と意義
- 第2・3回 妊娠期の助産診断
- 第4・5回 分娩期の助産診断
- 第6・7回 産褥期の助産診断
- 第8回 新生児期の助産診断

【授業実施方法】

講義

【授業準備】

助産に関連する科目を復習する。

【主な関連する科目】

「基礎助産学」「助産診断・技術学Ⅱ」

【教科書等】

助産学講座 2, 3, 6, 7, 8 医学書院

【参考文献】

授業で紹介します。

【成績評価方法】

筆記試験 100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

助産師の実務経験あり。

助産師としての実務経験をふまえ、臨床事例を提示する等により、理解が深まるように工夫している。

【学生へのメッセージ】

適宜意見交換をしますので、積極的に参加をしてください。